

高橋ひろしレポート



発行人：立憲民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉県千葉市中央区市場町1番5号 高橋 浩 事務所 〒292-0043 木更津市東太田1-9-30 TEL0438-98-0800 FAX0438-98-0833

ちばアクアラインマラソンの開催!! 新型コロナウイルス感染症の状況を見据え可否を判断へ

「富塚教育長答弁」

(白井議員質問)

白井議員 ちばアクアラインマラソンの開催によりどのような成果があったか。また、大会を継続すべきと思うかどうか。

富塚教育長 ちばアクアラインマラソンは、「海の上を走る爽快感」と「千葉らしい温かいおもてなし」が好評であり、参加した多くのランナーから「また走ってみたい」、「次回開催を楽しみにしている」との声をいただくなど、本県を代表するスポーツイベントとして定着しました。

大会の様子は、多くのマスコミに取り上げられるなど、本県の魅力を国内外に幅広く発信することができ、経済波及効果も4大会の累計で120億円を

超えるなど、地域経済の活性化にも寄与しました。

このように、確かな成果や地元の期待もあることから、県としては、大変意義のある大会であり、継続していくべきと認識しておりますが、次回大会に向けては、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、開催の可否を慎重に判断する必要があると考えています。

白井議員(要望) 千葉県の魅力発信の大きなツールとなっていることから、ちばアクアラインマラソンをぜひとも継続していただきたい。

県が主催の大規模なスポーツイベントをこれからも実施していただきたい。
千葉県及び本市の発展の為に必要であり、皆で努力をしましょう。



6月予算委員会

6月予算委員会

「コロナ対策ワクチン接種」について

質問

私は2月の予算委員会の際にもワクチンはゲームチェンジャーになりうるのお話をさせていただきました。実際にイギリスでは接種済みの方が、1回目65%、2回目48%になったことにより、1月のピーク時には死亡者が8739人もあったものが、デルタ型(インド型)による感染者が増え、6月2日には1日、9万6000人ともなっても、重症化になる患者が減り、死亡者は119人までに下がっている訳であります。

いかにワクチン接種を早める事が出来るかが、終息の鍵である訳であります。

現在の本県の高齢者へのワクチン接種状況はどうか。

加瀬健康福祉部長 高齢者への接種は、7月3日現在で対象者約170万人に対して、1回目100万人、2回目53万人の接種が完了しており、接種率は各々64%、31%となっております。

質問 日本は、4月の半ばから、ワクチン接種を始めたにもかかわらず、諸外国から比べると進捗が遅いように思えます。

ワクチン接種券の配付と集団接種会場の設置の各市町村の状況はどうか。

加瀬健康福祉部長 6月に実施した調査では、65歳以上の高齢者への接種券の配付の手続きはすべての市町村で済んでおり、現在、高齢者以外の対象者への発送手続きが進められている。

高齢者以外への接種券の発送は、6月中に発送を開始したのは25市町村、7月以降に開始したのは29市町村となっております。

また、集団接種会場の設置状況については、6月末現在、53市町村において設置されている。

要望 人流が増えれば、感染者は増える。感染者が増えれば死亡者が一人でも増える、減る事はありません。

私は政府は、オリパラをやるのであるのだから、オリンピックが開かれるまでに何とかして、もっとワクチン接種を増やす算段をし、感染者を出来る限り減らす事を目指していただけないのではないかと考えておりました。

そして、よくワクチンを打つのか打たないのかとの議論がありますが、子宮癌ワクチンなどは個人が、個人の為に判断をし接種すべきものであります。しかし、感染症のワクチンは自分の為であると同時に、他人に移さない為のものであり、私たちの暮らす社会を維持する為のものでもあります。幾分かリスクはありますがその事を皆で考え、ワクチン接種を進めていけたらと思います。

国勢調査を基にした
人口減少について

質問 国勢調査の速報値が出されまし

た。人が増え、発展をしてきた高度成長の時代と違い、人が減るといふ事は国力が下がり、また地域の衰退を招く事となります。ごうにかこれを少しでも止めなければならぬと考えます。本県においては、都心に近いといふ有利性を活かすとともに、少子化に歯止めをかける、大胆な施策を行わなければならないと思っております。そこで、本県における人口減少についての様に認識しているのか。

熊谷知事 今後、本県においても人口減

少が見込まれており、これまで各産業や、医療・福祉、地域社会を支えてきた人材が不足することにより、地域経済の縮小、地

域コミュニティ機能の低下など、本県の活力低下が懸念される。このため、県では、急激な人口減少を和らげ、経済の活性化を図るとともに、持続可能な千葉県づくりに向けた取り組みが急務と考えている。

質問 今後、人口減少問題に対してどのように取り組んでいくのか。

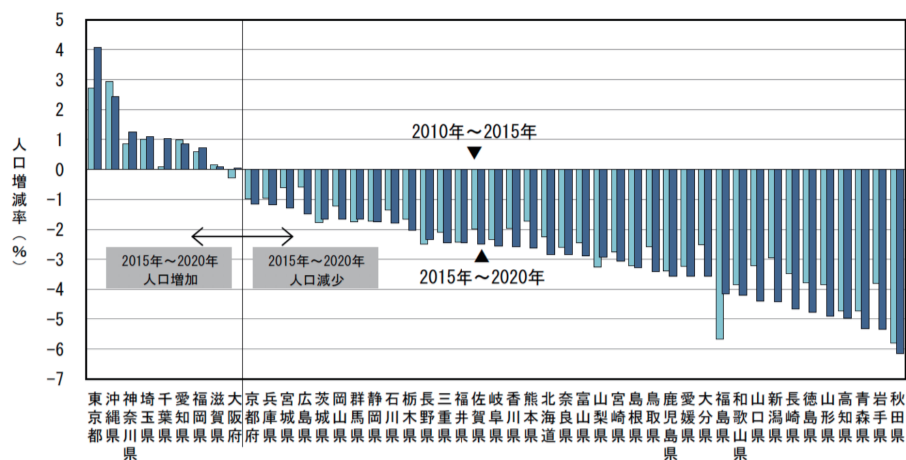
熊谷知事 人口減少社会においては、各産業や様々な分野を支える人材の確保・育成が重要であり、そのためには、人々が住み、働き続けていける魅力ある雇用の場が必要であると考えている。このため、道路ネットワークの整備や成田空港の機能性を活かし、企業誘致に取り組むとともに、地域の魅力ある資源やICT等の新しい技術などを活用した産業振興に努めていきたいと考える。さらに、本県の将来を担う子供たちを安心して生み育てる

ことができる環境づくりを進めよう。

要望 国調の中でも全国のほとんどの道府県が人口減少となる中において千葉県はまだ人口増を維持している。また国立社会保障研究所が5年前に推計した数値を6万人増す事ができている。これから、首都圏に集まる人々にいかに千葉県を選んでもいただけるかである。アクセスをよくし人々を呼び込む努力をしましょう。



都道府県別人口増減率 (2010年~2015年、2015年~2020年)



人口推計 2012年と2017年の比較(国立社会保障・人口問題研究所)と国調2020

	推計年	単位:千人				2040年
		2015年	2020年	2030年	2040年	2015年
全国	2012	126,597	124,100	116,618	107,276	
	2017	127,095	125,325	119,125	110,919	87.2% ↓
	国調		126,226 ↑			
千葉県	2012	6,192	6,122	5,806	5,358	
	2017	6,223	6,205	6,118	5,986	96.1% ↓
	国調		6,287 ↑			
東京都	2012	13,349	13,315	12,957	12,308	
	2017	13,515	13,733	13,883	13,758	101.7% ↑
	国調		14,064 ↑			東京以外は全て減
神奈川県	2012	9,148	9,122	8,833	8,343	
	2017	9,126	9,141	8,933	8,541	93.5% ↓
	国調		9,240 ↑			
秋田県	2012	1,023	959	827	700	
	2017	1,023	956	814	673	65.7% ↓
	国調		960 ↓			
奈良県	2012	1,370	1,330	1,223	1,096	
	2017	1,364	1,320	1,202	1,066	78.1% ↓
	国調		1,325 ↓			

熊谷知事に公約にして頂いた
学校給食費の無償化に対する動き

小路議員質問 県内市町村における給食費無償化等の実施状況はどうか。

富塚教育長 学校給食費の無償化については、今年度、神崎町や大多喜町など8つの町がすべて児童生徒を対象に、また、香取市や市川市など10の市町が第3子以降等、特定の要件を満たした児童生徒を対象に、それぞれ実施しています。

このほか、地元産の米の購入費や、年度途中の食材の値上げなどを負担している市町を含めると、県内では27の市町が、給食費について保護者の負担軽減措置を実施しています。

鈴木ひろ子議員質問 学校給食の位置づけをどのように考えているのか。また、無償化することにより、どのような効果があると考えているのか。

熊谷知事 学校給食は、成長期にある児童生徒の適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに、食についての正しい理解を深め、望ましい食生活を養う上で意義があると認識しています。

また、学校給食に地場産物を活用することで、郷土料理などの地域の食文化についての理解を深められ、食育の充実にもつながると考えています。

このような意義を有する学校給食を無償化することは、家庭の費用負担の軽減に資するだけでなく、学校給食での地場産物の活用がより図られるなど、食育の充実が期待できると考えています。

熊谷知事を含め多くの議員が動き始めました。子育て支援には一番公平な給食費の無償化を早期に実現させましょう。

子育て支援
宜しくね

